 笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは

広 報

# ならは

2026 JAN. 第672号

1

●表紙PHOTO: ならは農福フェス2025 あおぞらこども園児のよさこい

特集

ならは農福フェス2025







オークリーズのライブ



町の物産品があたるガラポン抽選会



中丸雄一さんのトークショー



ならはコミュニティコレクション2025 大人気の職員による寸劇



あおぞらこども園児 元気いっぱいの天神太鼓



檜葉町農産物品評会の入賞農産品



会場には様々なブースが展開



ゲストの皆さんも参加した餅まき大会

ステージでは、檜葉町農産物品評会の表彰式が行われ、5名の方が受賞しました。(11ページ参照) また、人気タレントの中丸雄一さん、俳優の村田映里佳さんをゲストに迎えてのトークショーが行われ、檜葉産の新米を試食した中丸さんがその味を絶賛するなど、町民にとってうれしいトークショーとなりました。恒例の餅まきにはゲストのお二人も参加し、会場は大いに盛り上がりました。

ステージのフィナーレ「ならはコミュニティコレクション2025」では、簡単に組み立てる「なかよし体操」町の福祉に関するトークセッションや町と社会福祉協議会の職員による寸劇が行われました。国民健康保険や後期高齢者医療制度などをテーマに、職員がプロの俳優顔負けの渾身の演技を披露すると、会場からは大きな拍手と歓声が起きました。

本イベントを通して町が取り組む農業、福祉、そしてそれにとどまらない、町の魅力やポテンシャルを参加者みんなを感じ、楽しみながら広く発信することができました。



11月15日(土)、みんなの交流館ならはCANVASを会場に、農業と福祉の祭典「ならは農福フェス2025」が開催され、さわやかな秋晴れの中、会場は多くの来場者で賑わいました。

会場には企業や団体のブースが並び、さつまいもなど農産品の展示及び加工品の試飲・試食や販売、飲食ブースも出展し、ご来場いただいた皆さんに町のグルメをご堪能いただきました。また、木工体験や遠隔技術の操作を通じた先端科学技術の体験、健康、福祉、人権のPR、防災関連の展示など、檜葉町の取組や魅力が勢ぞろいのイベントとなりました。



町の皆さんの創作活動の発表



村田映里佳さんのトークショー



檜葉天神龍舞 大迫力のよさこい



檜葉遠隔技術開発センターブースでの遠隔操作の体験



大谷じゃんがら保存会による郷土芸能 じゃんがら念仏踊





檜葉町長  
松本 幸英



檜葉町議会議長  
青木 基

あけましておめでとうござい  
ます。

皆様におかれましては、令和  
8年の新春を健やかに迎えの  
こととお慶び申し上げます。

今年の干支は午。十干十二支  
でいえば「丙午」にあたり、情熱  
や行動力が高まり、エネルギーに  
満ちた特別な年になるそうです。

さて、東日本大震災から14年、  
避難指示の解除から10年が経過  
した今、町の施策もハード事業  
からソフト事業へ移行し、「復興」  
から「地域振興」へ、そして、町の  
将来像である「笑顔とチャレンジ  
があふれるまち」ならはの実現の  
ため、各事業を展開しております。  
昨年を振り返りますと、サツ  
マイモの産地化に向けて多くの  
方々のご協力を得ながら、特色  
ある新しい農業モデルとして生産  
から加工販売へつなぐ6次化  
産業に取り組み、町内産のサツ  
マイモ・柚子・お米などを活用  
した加工品の開発や製造に力を

入れてきました。さらに、大阪・  
関西万博の会場でも檜葉町産  
の苗が立派に育ち、見事なサツ  
マイモが収穫されました。  
こうして檜葉町のサツマイモが、  
全国、そして世界へと広がりを見せ  
ており、これらの特産品を通して  
町の魅力を発信することで、交流  
人口の拡大や地域全体の活性化  
に繋がることを期待しております。  
そして今年は、東日本大震災  
から15年、町制施行70周年を  
迎え、町としてしましても、節目の年  
を迎えることとなります。  
大地を蹴つて力強く走り出す  
強靱な馬のように、私達の目標や  
夢が一気に動き出す年になる  
でしょう。町民の皆様と共に、  
新たな檜葉町を築き上げるため、  
もう一度、原点に立ちかえり、  
町民一人ひとり笑顔があふれる  
行政運営を目指してまいります。  
本年が皆様にとって、明るく  
希望に満ちた一年であります  
ことを願い、新年の挨拶といた  
します。

## HAPPY NEW YEAR 新年のごあいさつ

年頭にあたり、町議会を代表  
し謹んで新年のご挨拶を申し  
上げます。  
町民の皆様には、健やかに  
新年をお迎えのことと心より  
お慶びを申し上げます。  
また、日頃より私どもの議会  
活動に対しまして、深いご理解  
と温かいご支援、ご協力をいた  
だき心より感謝と御礼を申し  
上げます。  
さて、今年の干支である「丙午」  
は強いエネルギーで道を切り  
開く、いわゆる活気のある縁起  
の良い年とされており、未曾有  
の東日本大震災・原発事故から  
間もなく15年目を迎え、4年半  
にも及ぶ全町避難を経験した  
当町の、真の復興・再生に向け、  
新たな一歩を踏み出していく  
重要な年と考えています。  
このような中、全国的な課題  
でもある急激な人口減少、少子  
高齢化の波は当町も例外なく  
共有する課題として、移住・定住  
施策を推進すべく様々な事業  
を展開していますが、原発事故  
被災地域としてのデメリットも  
あり、計画通り進まない状況に

もあります。  
迎える令和8年は、町制施行  
70周年の節目の年となります。  
そして第3期復興創生期間の  
スタートの年でもあり、町政進展  
の新たなステージに向けた重要  
な年となることから、町民の安全・  
安心は基より、更なる生活環境  
の整備による満足度向上に向け  
て事業の展開を図ることが必要  
であると考えております。  
町議会といたしましても、皆様  
のご期待に応えるべく「町民  
ファースト」を大原則に、直面する  
様々な課題を国・県、関係団体  
に力強く発信するなど、先人が  
築いた愛する郷土の発展のため、  
議会の公正性及び透明性を確保  
し、町民に開かれた議会を目指  
して参ります。  
町民の皆様におかれましては  
引き続き、議会に対しましては  
ご支援・ご理解を賜りますよう  
心からお願ひ申し上げます。  
結びに本年が皆様にとって、  
未来につながる素晴らしい一年  
でありますようご祈念申し上げます  
まして、新年のあいさつとさせて  
いただきます。

# 福祉でつながる 檜葉町

～ならはの福祉を支える人と取り組み～

町では第5次檜葉町地域福祉計画・  
第2次檜葉町地域福祉活動計画に基  
づき、「みんなで支え合い幸せを実感で  
きるまち」を基本理念に掲げています。  
今回は、北田地区にある就労継続支  
援B型事業所「社会福祉法人希望の杜  
福祉会ふたばの里」の松本善孝施設長  
（松館）と、ふたばの里で働く方たちが共  
同で生活しているグループホーム「同法  
人憩いの家」の猪狩久美子施設長（下小  
埜）にお話を伺いました。  
※就労継続支援B型事業所とは、障がいや難  
病のため一般企業などで雇用契約を結んで  
働くことが難しい方に就労の機会や生産活  
動の場を提供するための施設です。

### ◆インタビュー

現在の仕事に就くことになっ  
たきっかけは？

松本▼20年程前、「ふたばの  
里」のオープニングスタッフの  
募集があり、福祉の分野に  
関心があったので応募しま  
した。

猪狩▼以前老人ホームで働い  
た経験があり、同じ福祉分  
野ということで知り合いか  
ら紹介してもらいました。



(右)ふたばの里  
松本善孝施設長(松館)  
檜葉町地域福祉計画策定検  
討委員会委員  
(左)憩いの家  
猪狩久美子施設長(下小埜)

施設長はどのような仕事をし  
ていますか？

松本▼最も大切な仕事は、施  
設利用者の支援です。支援  
の一環として、利用者と一緒  
に作業することもありま  
す。ふたばの里が製造販売  
する豆腐づくりも、利用者  
の作業の一つですが、作業開  
始時刻前の準備作業など  
も行います。他に施設管理  
や事務などの運営全般を  
担当しています。

猪狩▼事務や施設管理も行い  
ますが、やはり、利用者支援  
が大事です。憩いの家の利用  
者は、施設が暮らしの場所  
でもあるので、精神面も含め  
て生活全般に目を配りなが  
らの様々なサポートが必要  
だと思っています。

利用者の皆さんはどんな作業  
をしていますか？



松本▼ふたばの里の利用者は  
現在24名で、憩いの家の入居  
者は5名です。憩いの家入居  
者も通所の利用者も、朝は  
9時30分から作業を開始  
します。  
作業は所内で行う簡単な  
軽作業から、現場に赴いて  
行う作業まで様々な難易  
度があり、それぞれが無理  
なくできる作業をお願いし  
ています。  
古紙の分別作業や自動車部  
品の組み立ての一部を請け  
負ったり、役場からの優先調  
達制度による事務作業の依  
頼を受けたりもしています。  
特に力を入れていることはあ  
りますか？  
松本▼現場の作業では、農業  
関係の事業者との提携、いわ  
ゆる「農福連携」に積極的  
に取り組んでいます。白ハ  
ットファームでさつまいも生産の  
手伝い、ナラハグリで田植  
への補助、ならはの苗の剪  
定など、少し大げさな言い  
方をすると、檜葉町の農産

ふたば支援学校との関係はい  
かがですか？

猪狩▼震災前から生徒が現  
場実習に来ることがあり  
ました。卒業後に引き続き  
通所する人もいます。今年  
度からふたば支援学校が  
町内で再開し、今年も高校  
生が現場実習に来てくれ  
ています。

この仕事のやりがいを感じ  
る時がありますか？

松本▼利用者の笑顔を見た  
時にうれしく感じます。  
昨年3月に、憩いの家入居  
者の一人が一般企業（住  
友エナジーマテリアル）に就職  
しましたが、退所はさびしくも  
うれしい出来事でした。

猪狩▼人によって速度は違  
いますが、いろいろなサポ  
ートをしていると、ある時、利用  
者の成長を実感することが  
あり、その瞬間によるこ  
びを感じます。必ずしもみん  
なが自立できるわけではな  
いのですが、それでも、みん  
な、確実に成長していると思  
います。ゆっくりとした成長

の気づきと共有はこの仕事  
ならではのと思っています。

何か町の皆さんに伝えたいこ  
とはありますか？

松本▼農福連携をはじめ、授  
産品である豆腐製品の購入  
や利用者へのご理解とご協  
力をいつもありがとうございます。  
障がいと向き合いなが  
ら生きる様々な利用者が  
いるので、施設内でできる簡  
易な作業の依頼がたくさん  
あるとありがたいです。今後  
ともどうぞよろしく願ひ  
します。

町では、今後も地域包括ケ  
アシステムのさらなる強化を  
図り、地域の住民が支え合  
いながら自分らしく活躍でき  
るコミュニティを育成し、公的  
サービスと協働して助け合  
いながら暮らすことのできる  
「地域共生化社会」の  
実現に向け、地域福  
祉の充実に取り組  
組んでいます。





## Jヴィレッジで 東京2025 デフリンピックサッカーが 開催されました

11月14日～25日、Jヴィレッジを会場に東京2025デフリンピックのサッカー競技が開催されました。日本代表は男女とも日本代表初となる銀メダルを獲得しました。Jヴィレッジで国際スポーツ大会が開催されたことで、多くの観戦者やメディア関係者に来町いただき、町の知名度向上、国際スポーツ大会のサポート、また、おもてなしの心をもって多様な方々をお迎えするなど、重要な経験を行うことができました。これからもスポーツを通じて情報発信や観光施策により地域振興の推進に努めていきます。



## 消防団再建の立役者 瑞宝単光章

檜葉町消防団の団長を8年間務められた小葉金重さん（上繁岡）が令和7年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章されました。42年にわたって檜葉町消防団を勤め上げ、震災時には波倉地区での救助活動をはじめ、困難な状況下でも懸命な活動を継続されました。団長就任後は、避難先から活動を続ける団員の心情に寄り添いながら、消防団再建に全力を注がれました。小葉団長は、団員からの人望の厚い、まさに檜葉町消防団の大黒柱でありました。この度は誠におめでとうございました。



## ふくしま駅伝2025 健闘の総合31位

11月16日、今回で37回目となる「ふくしま駅伝」が開催されました。白河市から福島市までの96・3km、16区間を市町村を代表する選手たちが駆けぬけました。今年は昨年の総合37位から6位順位を上げ、31位で完走。町の部では13位と健闘の走りを見せてくれました。中学生を中心に走力が向上していることから、来年以降さらなる活躍が期待されます。



## 檜葉町やさしい日本語研修

11月21日、檜葉町役場大会議室で、福島県国際交流協会総括コーディネーターの熊田萌氏を講師に、檜葉町やさしい日本語研修が開催されました。この研修は、日本語に不慣れた外国人に、災害時の避難や行政手続きなど、必要・適切な行動を促すために必要な情報をわかりやすく伝えることを目的に実施されました。カタカナ言葉が伝わりにくいことや、熟語や敬語を使わずに簡単な単語を使うと伝わりやすくなることなど、日常使っている言葉の言い換え実習も交えながら、有意義な「やさしい日本語」を学ぶ機会になりました。



## 災害廃棄物仮置場設置訓練

11月27日、地震や豪雨などの自然災害に伴って発生する災害廃棄物を、適正かつ迅速に処理することができるよう、災害廃棄物仮置場設置訓練を行いました。

当日は、町民の皆様をはじめ、町内の建設業者及び双葉地方広域市町村圏組合の皆様に参加していただきました。今回の訓練を通して、実際に仮置場を設置し、迅速に廃棄物の受入れができるか、車両が安全かつ円滑に仮置場に入出力できるか、また、受入れた廃棄物を適正に処理できるかなどについて確認を行いました。今後も、檜葉町は災害に強い町づくりを目指していきます。



## いわきFC シーズン終了を報告

12月1日、いわきFCが結果報告のため、檜葉町役場を訪れました。今季の報告を受けた後、町長から激励のため、干し芋が手渡されました。この干し芋は、町長とともにいわきFCの石田選手・深港選手が収穫したさつまいも「あまはづき」を使用した特別品です。いわきFCでは、企業版ふるさと納税を活用した「いわきFCホームタウン感謝祭in檜葉町」の開催やアウェイ戦での町PRブースの設置、特産品のPRなど、地域振興に取り組んでいます。来季もホームタウン地元檜葉町からいわきFCを応援しましょう！がんばれいわきFC……！



## 救命救急 講習を 実施しました

12月3日、ならはスカイアリーナにて救命救急講習を実施しました。一般参加者、消防団機能別団員がそれぞれ富岡消防署救急隊の指導のもと、心肺蘇生手順とAEDの使用方法を学び、最後には受講証明書を受け取りました。参加した方々は、いざという時誰かの命を救えるようにと、真剣に知識と技術を身に着けていました。



## 資源回収大作戦 大成功！

12月6日に役場駐車場で「資源回収大作戦」を実施しました。作戦では、ご家庭で使わなくなったパソコンや白物家電などの小型家電のほか、衣類、消火器などたくさんの方が集まりました。ご来場いただいた町民の方からは、また来年もイベントを実施してほしいとの声も頂きました。回収された小型家電はリサイクルされて新たな商品に生まれ変わり、衣類は必要とされている国の方へ届けられます。

檜葉町がサステナブルな町となるよう、今後も環境に優しい取り組みを続けていきます。ご協力いただいた町民の皆様、ありがとうございました。





## 芸能発表会

[期 間] 令和8年2月1日(日) 10:00(開場 9:30)

[会 場] 榎葉町コミュニティセンター大ホール

芸能発表会は町制30周年を迎えた昭和61年に誕生し、震災直前の平成23年1月23日まで毎年開催され生涯学習活動の成果を披露する場として親しまれてきました。その後13年間の休止を経てようやく再開されたのが令和6年2月4日。合唱・舞踊・詩吟・カラオケなど14団体、100名をこえる参加者にとって待ちに待った晴れの舞台となりました。明年、榎葉町は町制70周年を迎えます。これまで榎葉町を支えてこられた多くの方々への感謝と、未来発展に向けてのたいなる希望を胸に繰り上げられる熱い演技に盛大な拍手を送りましょう。



広報ならは(平成23年2月)

第25回芸能発表会プログラム

## まなびの 広場



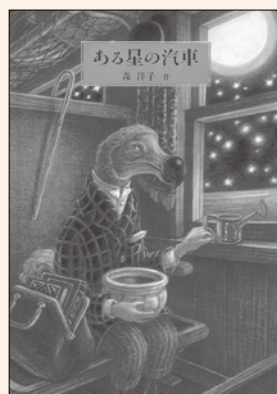
### おすすめ図書

(一般図書)

#### 『ある星の汽車』

森洋子/作・絵(福音館書店)

月明かりにてらされて、広い大地を走り続ける汽車。汽車には男の子が乗っていて、まわりはお客さんでいっぱい。モーリシャスドードーのおじさんに青いコートのブルーバック、和装のトキにニホンオオカミのおくさんたちの姿もあります。汽車は「1681」という駅でとまり、ドードーのおじさんがおりてゆきました。それから、駅にとまるたびに誰かがおりてゆき……大人にも読んでいただきたい一冊です。



『ある星の汽車』  
森洋子/作・絵(福音館書店)

### 新着図書

一般

- 『『種の起源』を読んだふりができる本』 更科功/著(ダイヤモンド社)
- 『翠雨の人』 伊与原新/著(新潮社)
- 『涙の箱』 ハンガン/作(評論社)

児童

- 『すごい飛行機』 浅井圭介/監修(ニュートンプレス)
- 『山の神の使い』 最上一平/作、マメイケダ/絵(童心社)
- 『ぴったりこ(0.1.2.えほん)』 及川賢治/絵、木坂涼/文(福音館書店)

[お問い合わせ先] 榎葉町図書室(榎葉町コミュニティセンター3階) ☎0240-25-4730

開室時間 9時～17時 休室日 12月27日(土)～1月5日(月)、1月12日(月・祝)、19日(月)、26日(月)



12月6日に芝パークホテル(東京都港区)で開催し、主に首都圏在住の榎葉町出身者や榎葉町にゆかりのある53名の方々にご参加いただきました。若者会のメンバーによる提案発表や会員同士の交流・親睦を深め、NARAHAアンバサダーの村田雄浩さん等が会場を盛り上げてくださいました。本会は現在92名の会員で組織され、榎葉町に思いを寄せる皆様により、ふるさと榎葉とのつながりづくりやコミュニティづくりを進めています。随時、会員を募集していますので、榎葉町にご縁のある方、関心をお持ちの方は、ぜひお気軽にご連絡ください。



## ふるさと福島榎葉会 交流会を開催しました

## 駐日ギリシャ共和国 特命全権大使が 退任されました

この度、駐日ギリシャ大使館の特命全権大使として職務を務めてこられたニコラオス・アルギロス特命全権大使が任期を満了し、12月15日に離日されました。在任中は、榎葉町とギリシャ共和国オリンピック市との友好の深化に尽力され、特に昨年の当町小学生とオリンピック小学校の訪問及び交流においてご助力いただきました。今後、ギリシャ共和国オリンピック市とは教育・産業・文化の分野で幅広く交流を図ってまいります。ニコラオス大使様、誠にありがとうございました。



消防署ではマイナ保険証を活用した「マイナ救急実証事業」を実施しています。防災行政無線等を活用した町民の方への呼びかけを榎葉小学校の6年生にご協力いただきました。防災行政無線によるお知らせは山本美桜さんが、消防の広報車両によるお知らせは渡部莉心さんが担当し、防災行政無線の放送は令和8年1月に毎週1回放送する予定です。

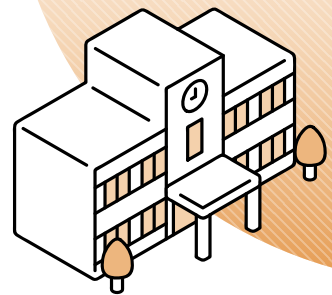


## 榎葉小学校児童が マイナ救急実証事業をお知らせ

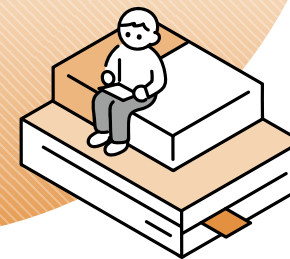
マイナ救急  
実証事業に  
関するお知らせは  
こちら







# 学び 育ち 羽ばたく ならはスクールレポート



## 樫葉中学校

### ふるさと創造学サミットに参加しました



11月29日、樫葉中学校も小学校同様、ふるさと創造学サミットに参加しました。今年度は各学年が発表ブースを構え、総合的な学習の時間を中心に組みこんできた学習の成果を、他の小中高校生に向けて発表しました。発表内容は、樫葉町の魅力発信や身の回りの課題解決など、多岐にわたりますが、他にはないユニークな視点で発表することができました。これまでの学習の中で、町の方々にはたくさんのご協力をいただきました。今後も地域と連携した学習に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ホームページ

## あおぞらこども園

### 3・4・5歳児の生活発表会が行われました♪



ノルディーン先生と一緒に英語の歌を歌いました(3・4・5歳児合同)

3歳児ダンス

5歳児劇



3歳児劇

4歳児劇

11月29日の生活発表会では、ステージでたくさんのお客さんを前にドキドキワクワクの子どもたちでしたが、元気いっぱい発表出来ました。劇遊びでは、子どもたちが興味を持った絵本を題材に取り組み、役になりきって、一人ひとりがしっかりと大きな声でセリフを発表しました。ダンスでは素敵な衣装を身につけ、笑顔で踊る姿がかわいかったです♪年長児にとっては最後の生活発表会!!友だちと協力しながら自分たちで劇を進めていく姿や最後にしっかりと歌い上げる姿がとても印象的でした♪たくさんの温かい拍手をありがとうございました。



Instagram

## ふたば支援学校

### 将来を見据えて産業体験など貴重な体験をしました



高等部校内実習が11月4日～21日、産業現場等における実習が11月10日～21日に行われました。これらは、将来の自立や職業生活に向け、勤労を重んじる態度や社会生活に参加する力を養うことを目的としています。校内実習では、地元企業から業務を提供していただき、生徒がその作業を通して職業生活に必要な知識や技能、働く意欲などを学びます。カレンダー巻きや段ボールの組み立て作業では、ひとつひとつを丁寧に進めていました。産業現場等における実習では、企業や福祉事業所の協力を得て、職場の雰囲気を感じながら、卒業後を見据えた貴重な作業体験ができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



ホームページ

## 樫葉小学校

### 6年生が「第12回 双葉郡ふるさと創造学サミット」で発表

11月29日、福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校を会場に、「第12回 双葉郡ふるさと創造学サミット」が開催され、本校6年生が参加しました。本サミットは、双葉郡8町村の小・中学校や高等学校、支援学校の児童生徒が一堂に会し、それぞれの地域を題材にした探究学習の成果を発表・共有する場として行われているものです。

児童たちは、「樫葉をもっと魅力的な町に!～小学生の自分たちにできること～」をテーマに、これまでの学習の成果を発表しました。町が掲げる『笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは』という目標をもとに、「震災伝承」「特産品」「健康」「町おこし」の4つの視点から、自分たちに何ができるのかを考え、具体的な取り組みや今後の計画を堂々と発信しました。

対話の時間には、他の学校の児童生徒とグループに分かれ、それぞれの町・村の特産品や防災の取り組み、地域の魅力などについて意見を交わしました。初めは緊張した様子も見られましたが、次第に積極的に発言し、メモを取りながら真剣に話を聞く姿が印象的でした。

今回の参加を通して、児童たちは改めてふるさと樫葉の魅力や課題に目を向けるとともに、「自分たちも地域をつくる一員である」という意識を高める貴重な機会となりました。



ホームページ



# おうちでならいざっふ

## 健康長寿の秘訣は「きょういく」と「きょうよう」!

この記事を読んだ人は、ちょうど年末の慌ただしい時期かと思います。  
年末は、新年に向けて気持ちを新たに作る時期でもあります。新しい年を生き生きとスタートさせるために、「健康な心と身体の準備」を一緒に始めましょう!



### 「きょういく」と「きょうよう」って何?

健康な身体づくりには「栄養」と「運動」が大切ですが、実はもう一つ、「人とのつながり(社会参加)」が欠かせません。この「つながり」を保つためのキーワードが、「きょういく」と「きょうよう」です。

キーワード	意味	なぜ大切なの?
きょういく (今日行くところがある)	「行き先」があること	外出は体力と筋力の維持に直結し、心の虚弱(フレイル)を防ぎます。
きょうよう (今日用事がある)	「やるべき事」があること	誰かの役に立つ役割や目的は、生きがいや充実感を生み出し、要介護状態への進行を防ぐ最大の力になります。

### 要注意!「寝正月」は老化の大敵です。

年末年始は、テレビを見たりコタツに入ったりと、ゆっくり過ごす時間が増えます。しかし、動かない時間が長く続くことは、筋力低下だけではなく、意欲の低下も招き、心身の虚弱(フレイル)を加速させる大きな危険をはらんでいます。  
「きょういく(今日行く)」と「きょうよう(今日用)」を意識して、生活のリズムを維持しましょう!

### 今日からできる、「きょういく」と「きょうよう」のヒント。

特別なことをする必要はありません。ほんの小さな工夫で、身体と脳は活性化し始めます。

きょういく(今日行くところがある)を見つける	
行き先は「目的」で決める	「運動のために散歩する」ではなく、「〇〇さんの家まで歩いて行く」「郵便局まで歩いて行く」など具体的な目的を持つ。
地域の施設へ行く	週に一度は、交流館やコミュニティセンター、天神岬などへ足を運んでみる。
いつもの場所でも遠回りする	お店の中でも、目的の陳列棚とレジだけを目指すのではなく、色々なコーナーを眺めて回る。
きょうよう(今日用事がある)を意識する	
簡単な役割を担う	玄関前の掃き掃除や、花壇の水やりを日課にする。
自治会やサークルの活動	無理のない範囲で、町内会や趣味の集まりのお手伝いに参加する。地域ミニデイや元気アップ教室に参加するのもおすすめ。
趣味を役立てる	得意な手芸や料理を、親しい人におすそ分けしてみる。

### あなたの「きょういく」と「きょうよう」をチェック!

半年後のご自分の心身の健康のために、「きょういく」と「きょうよう」チェックを日課にすることをおすすめします。

夕食後や就寝前の穏やかな時間に、その日の行動を振り返ってみてください。

健康長寿の秘訣でもある、「人とのつながり」を維持しているか確認できる項目をご紹介します。

質問	結果
今日、家から一歩でも外に出ましたか?	
今日、家族以外の人と10分以上会話しましたか?	
今日、誰かのために「ちょっとしたこと」をしましたか?	

「今日行くところがある」「今日用事がある」という状態を、ご自身の力で作り出すことが、健康長寿への道しるべです。この2つは、フレイル予防だけではなく、認知症予防にとっても大切な事柄です。外出はするけれども用事が無い、という方は、「あいさつ」も立派な社会参加(人とのつながり)の一つです。

ゆず太郎



## 檜葉町農産物品評会受賞者 ～ならは農福フェス2025～

令和7年11月15日、ならは農福フェス2025において農産物品評会を開催しました。80名の生産者から野菜や果実・花き等154点が出品され、双葉農業普及所による厳正な審査を実施。受賞者の皆様をご紹介します。



- 檜葉町長賞 ..... 山内 貞勝(カボチャ)
- 檜葉町議会議長賞 ..... 佐藤 洋子(トウガン)
- 檜葉町農業委員長賞 ..... 橋本 盛一(ブロッコリー)
- JA福島さくら 檜葉町甘藷生産部会長賞 ..... 永山 充洋(サツマイモ)
- 檜葉町ゆず生産振興組合長賞 ..... 餌取 賢次(ユズ) (敬称略)



連絡先  
☎0240-23-6104

## 令和8年度甘藷生産部会員募集!



町は「1アールから始める甘藷栽培」を推奨し、一大産地化に向けて勉強会や支援事業等により生産拡大に取り組んできました。

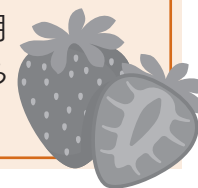
令和8年度JA出荷を目的として甘藷栽培に取り組まれるご予定の方は、1月30日までに農林水産課にご連絡願います。

● 農林水産課 ☎0240-23-6104

## 学校給食の地場産活用 ～檜葉町産いちご～

学校給食に町内で栽培された農産物を積極的に取り入れる取り組みを展開しています。

昨年から「ならはう米GABA+」やシャインマスカット、トマトやサツマイモ等。今月から町内で栽培された新鮮な「いちご」を子どもたちに届ける予定です。



## ゆず出荷ご協力に感謝

昨年11月、町内産ゆずの収穫作業及び町振興公社による買取りが行われました。ご自身で収穫・出荷された皆さまや出荷協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。

なお、3月ごろまでに元肥(寒肥)として有機肥料や緩効性化学肥料の施肥と必要に応じ、整枝・剪定を行うようにしましょう!



各地でクマによる被害が多発しております。

❖ 農地周辺の刈払いや野菜等の残さ・果実も適切に処理しましょう。



## 楡葉町原子力施設監視委員会出前講座

### 「原子力、いろはの『い』から。」ダイジェスト

10月26日、みんなの交流館 ならはCANvasで、福島第一原発の廃炉作業、第二原発の廃止措置など福島第1・第2原子力発電所の今とこれからについて、原子力のエキスパート集団楡葉町原子力施設監視委員会と町民の皆さんによる座談会が行われました。活発な意見交換が行われましたが、その一部をご紹介します。

#### Q 福島第一原発の廃炉作業が終わるのは、これから何年ぐらいかかりますか？

**A** 廃炉作業は30～40年後の終了を目標として、その工程が示された中長期ロードマップに沿って行われています。しかし、初めて実施する作業が多く、一部作業工程の見込み時期が5年先、10年先とずれ込んでいます。現在、汚染水問題はようやく解消されつつあり、ALPS処理水の海洋放出も順調に進み、汚染水貯蔵用のタンクも少なくなってきました。使用済燃料の取出しについては、装置等のトラブルが若干あったにしても順調に進んでおり、燃料デブリの取り出しについては2号機から調査のための微量サンプルの取り出しが2回行われ、組成等が分析されています。3号機はデブリの取出し方法を検討している状況にあり、1号機は、ガレキを整理してから次の段階へ取り掛かろうとしています。1、2、3号機それぞれに作業の進捗が異なり、状況に応じた作業が行われています。

#### Q 廃棄物の処理の状況は？

**A** 放射性廃棄物は、施設内において、減容化(切断したり、焼却したり)して、専用の容器に入れ、その処分先が決まるまで保管する予定です。安全な状態で保管するよう、委員会として注視していきます。

#### Q 作業中の事故などもあるようですが？

**A** 関係作業は、廃炉に係る中長期ロードマップに沿って、年度毎の進捗状況を考慮しながら、具体的な計画を立案し、それに従い、安全第一で作業が進められています。しかしながら、様々な要因で、トラブルやケガ人が発生しています。私たち委員会では、その発生要因などを確認し、安全管理の面からも注視しています。

#### Q 福島第二原発の廃止措置の進捗はどうなっているのか？

**A** まだ始まったばかりで、廃止措置全工事期間の第1段階ですが、具体的には、廃止措置の進め方について規制委員会から認可を得たところです。現場の作業としては、1～4号機について、運転中に発生した放射線(中性子)が、原子炉の構造体であるコンクリート等に影響を及ぼした範囲を調べることで放射性廃棄物の詳細な発生量を評価しています。また、使用済燃料を原子炉建屋中の使用済燃料プールから乾式キャスクにて一時保管するための準備も進めています。

#### Q 我々は広域避難するような原子力災害に遭いたくはありません。使用済燃料が原子力災害を引き起こすリスクであるとすると、第一原発も第二原発も同じリスクを抱えていると考えてよいのでしょうか。

**A** 第一原発では原子炉建屋内にある使用済燃料プールから共用プールへ移動し、乾式キャスクに入れ替え、安全に保管する作業を進めています。第二原発でも使用済燃料を使用燃料プールから乾式キャスクに入れ替え安全に敷地内で保管する予定です。その入れ替えが終わるまでの期間に、使用済燃料プールの水が抜けてしまうような不測の事態に備え注水を行うバックアップ体制(給水をするための消防車、非常用電源車などの整備)についても確認しています。3、11以降は、潜在的なリスクに関する関係者の意識が変わり、対応能力が向上しており、使用済燃料のリスクの危険度は下がってきていると考えられます。

#### Q 監視委員会では、廃炉工程の中でフォーカスを当てている部分はありますか？

**A** 年3回の委員会を行っており、基本的に、1回目の会議では東電から廃炉工程の状況をくわしく聞き取り、2回目には第二原発、3回目には第一原発の中で視察が必要な箇所を決定しています。ALPS処理水の海洋放出、廃棄物など、ケースバイケースで年度ごとにフォーカスする部分は変わっています。



### 1月18日は「118番の日」です

～「118番」は海上保安庁緊急通報用電話番号です～

海上保安庁は、海上における事件・事故等の緊急通報用電話番号として、局番なしの3桁電話番号「118番」を運用しています。

大事な人命を守るためにも「118番」をぜひ覚えてください。



### 楡葉町スポーツ協会からのお知らせ

#### 軽登山・ウォーキング教室

- 開催日／2月14日(土)
- 行先／裏磐梯北塩原村
- 参加費／500円
- 申込期間／1月13日(火)～1月30日(金)

●お問い合わせ・お申し込み先  
一般社団法人楡葉町スポーツ協会  
☎0240-26-0076 FAX0240-23-6047



### 令和8年4月1日より国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の一部負担金が震災前の負担に戻ります

東日本大震災・原発事故に伴い継続されてきた特例減免措置(窓口での自己負担免除)につきましては、令和8年3月31日で終了となります。

令和8年4月1日以降に医療機関等で診療等を受けた際は、自己負担割合に応じた一部負担金のお支払いが必要となります。この機会にいま一度ご家庭の医療費を見直され、健康にご留意のうえお過ごしください。

※上記は平成23年3月11日時点で住民票が楡葉町にあった方が対象となります。

楡葉町以外の被災市町村に住所があった方については、スケジュールが異なる場合があります。ご不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせ願います。

●お問い合わせ先／保健福祉課 ☎0240-23-6102

### 令和7年度 原子力機構 福島廃炉安全工学研究所 成果報告会の開催について

原子力機構は、福島廃炉安全工学研究所における福島第一原子力発電所の廃炉及び福島県内の環境回復に向けた研究開発の活動で得られた成果について、以下のとおり報告会を開催します。

- 開催日時／2月6日(金) 13:30～16:30(予定)
- 開催場所／CREVAおおくま
- 開催方式／ハイブリッド開催  
(ご来場及びオンライン)※入場無料

- 申込方法／QRコードから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力後、お申し込みください。



●お問い合わせ先  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
福島廃炉安全工学研究所  
運営管理部 総務課  
☎0246-35-7650 FAX0246-24-4031  
E-mail:fukushima-hokokukai@jaea.go.jp

#### 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の一部負担割合

##### ○国民健康保険

18歳に達する年度の末日まで	0割
19歳に達する年度の初日から70歳に達した月まで	3割
70歳に達した月の翌月(1日が誕生日のかたはその月)から74歳まで	●2割 ●3割(現役並み所得者)

##### ○後期高齢者医療 (75歳以上の方と、65～74歳の方で障害認定を受けている方)

○世帯の被保険者全員の所得が28万円以下の場合	1割
○世帯の被保険者が1人⇒年金収入+その他の所得=200万円以上の場合	2割
○世帯の被保険者が2人⇒2人の年金収入+その他の所得=320万円以上の場合	
○世帯の被保険者全員の前年収入が520万円以上の場合	3割

##### ○介護保険

65歳以上の人(第1号被保険者)	原則1割から3割
40～64歳の人(第2号被保険者)	1割

※サービス内容によっては居住費等、食費などが別途必要です。



# 住民税の申告・所得税の申告相談受付のお知らせ

令和8年度住民税の申告(令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間に生じた収入の申告)及び所得税の申告相談受付を次の日程で行います。

## ■受付期間

2月16日(月)～3月13日(金) 9:00～15:30

※2月27日(金)及び3月6日(金)の両日は受付時間を延長し18:00までの受付とします。

※最終日3月13日(金)は12:00までの受付となりますのでご注意ください。

※期間中の土、日及び祝日は実施しません。

## ■会場

檜葉町コミュニティセンター 大会議室

## ■注意事項

- ・利用者識別番号を取得済みの方は、利用者識別番号が記載されている税務署からの通知書等をお持ちください。
- ・相談受付期間中は大変混み合いますので、営業・農業・不動産等の各種事業主様につきましては、予め収支内訳書を作成の上ご来場ください。
- ・医療費控除についても、予め収支内訳書を作成の上ご来場ください。
- ・令和7年中の収入が無い方やご家族の扶養になっている方でも、住民税の申告は必要となります。(証明書発行や各種保険料の算出、給付金の判定等に必要な情報となります。)収入が無い方や、申告の必要・扶養の判別が不明である方については、電話での申告・相談が可能ですので、町民税務課までご連絡ください。
- ・避難等で町外にお住まいの方は、お近くの税務署でも申告受付が可能ですので、ご活用ください。なお申告会場については、お近くの税務署までお問い合わせください。
- ・贈与税、相続税等の所得税や住民税以外の申告についてはお受けできませんので、ご了承ください。

## ●お問い合わせ先

町民税務課 ☎0240-23-6101

# 小型充電式電池の拠点回収を開始！

近年、小型充電式電池が原因でごみ収集車・処理施設での火災事故が全国的に多発しております。火災事故を防ぐため、令和8年1月から檜葉町役場本庁舎2階くらし安全対策課前及び双葉地方会館で回収ボックスを設置しての回収を開始します。回収方法や対象製品の詳細については、広報誌同封のチラシをご覧ください。

## ●お問い合わせ先

くらし安全対策課 ☎0240-23-6109



# 所得税申告相談時に使用する利用者識別番号の事前取得について

昨年度から檜葉町で受け付けた確定申告書について、事務効率化等のため電子データで税務署へ提出することとなり、その際にe-Taxの「利用者識別番号」(半角16桁の番号)が必要となります。

檜葉町コミュニティセンター会場で確定申告をする予定の皆様におかれましては、混雑防止のため、予め「利用者識別番号」を取得の上、ご来場をお願いします。

※すでに「利用者識別番号」をお持ちの方は、再度取得は不要です。

## 【利用者識別番号とは】

e-Taxの利用や確定申告の電子申告をする際に必要な16桁の番号のことを言います。

マイナンバーは12桁の統一個人番号であり利用者識別番号とは異なる番号です。

利用者識別番号の詳しい説明については下記ホームページをご確認ください。

## ○利用者識別番号の詳細

利用者識別番号 取得 で検索



## ○利用者識別番号の取得手続き

利用者識別番号 届出 で検索



# 消防署からのお知らせ



「林野火災注意報」「林野火災警報」の運用が開始されます！

昨年発生した岩手県大船渡市の大規模森林火災を受けて、令和8年1月1日から火災予防条例が改正されました。町内に注意報または警報が発令された場合は、火の使用の制限<sup>\*1</sup>がかかることとなります。

詳しくは同封の【消防通信】に記載されておりますので、ご確認いただきますとともに、火の取り扱いには十分注意してお過ごしく下さい。

## ※1「火の使用の制限」とは？

- ①山林、原野等において火入れをしないこと。
- ②煙火(花火等)を使用しないこと。
- ③屋外において火遊び又はたき火をしないこと。
- ④屋外においては、引火性又は爆発性の物品その他の可燃物の附近で喫煙をしないこと。
- ⑤山林、原野等の場所で、喫煙をしないこと。
- ⑥残火(たばこの吸殻を含む。)、取灰又は火粉を始末すること。

# 相馬税務署からのお知らせ

- 1 スマホとマイナンバーカードで、ご自宅からe-Tax！  
すでに約4人中3人がe-Taxで申告していますので、是非ご利用ください。

## ●ご自宅からのe-Taxは、メリットがたくさん

- ご自宅から24時間利用できます(メンテナンス時間を除きます)
- 受信通知からいつでも確定申告の内容が確認できます
- 添付書類の提出が不要となります(一部の書類を除きます)
- 3週間程度で還付になります(書面提出の場合は1か月～1か月半程度で還付)

## ●e-Taxに必要なもの

- マイナンバーカード ●マイナンバーカード読取対応のスマートフォン
- マイナンバーカードのパスワード2つ
  - ①利用者証明用電子証明書のパスワード(数字4桁)
  - ②署名用電子証明書のパスワード(英数字6～16文字)

## ●申告に困ったときは

確定申告書等作成コーナーの操作方法などを動画でご案内しています。

## 2 確定申告はマイナポータル連携をご利用ください

医療費やふるさと納税などの情報を申告書に自動入力することができ、申告書をスムーズに作成できます。

## 3 令和7年分の所得税等の確定申告書作成会場について

令和7年分の所得税及び復興特別所得税、消費税及び地方消費税並びに贈与税の確定申告期における申告書作成会場は、次のとおり開設予定です。

- 開設場所 相馬市振興ビル6階 相馬市中村字塚ノ町65-16 ●開設時間 9:00～16:00
- 開設期間 2月16日(月)～3月16日(月)《土、日、祝日を除く》

※1 申告書作成会場での相談は、LINEから事前予約が必要です。国税庁LINE公式アカウントのお友だち追加をすたうえて、予約してください。

※2 申告書作成会場では、原則としてご自身のスマホとマイナンバーカードを使用します。お持ちの方は必ずご持参ください。  
マイナンバーカードに設定した2種類のパスワード(注)のほか、マイナンバーカードの電子証明書が有効期限内であることを来場前に必ずご確認ください。  
電子証明書の有効期限が過ぎた場合、e-Tax等がご利用できません。更新窓口(市区町村)で、お早めに更新手続きをお願いします。  
(注)パスワードが不明な場合又はロックされた場合、市町村の窓口又はコンビニ等で初期化が可能です。

※3 申告書を作成済みで提出のみの方は、郵送又は相馬市振興ビル正出入口横の相馬税務署文書収受箱へ入れてください。

## ●お問い合わせ先／相馬税務署 個人課税第一部門

☎0244-36-3111(代表) [音声案内で「2番」を押してください]

# 各地区の「とり小屋」

※12月上旬の情報を元に作成しています。

上繁岡地区	■日時／1月10日(土)10:00～12:00 ■場所／上繁岡字堤袋25-3(集会所駐車場)
下繁岡地区	■日時／1月10日(土)10:00～12:00 ■場所／下繁岡字篠柄26-1(田)
上小埜地区	■日時／1月7日(水)17:00～20:00 ■場所／上小埜字宮平1番地の1(木戸八幡神社前)
山田岡・山田浜地区合同	■日時／1月10日(土)16:30～18:00 ■場所／山田岡字南作地区(霊泉寺前)
前原地区	■日時／1月7日(水)18:00～19:00 ■場所／前原字岡崎地内(前原集会所南側 畑)
北田地区	■日時／1月10日(土)9:00～12:00 ■場所／北田字縄手下地内(田)
下井出地区	■日時／1月10日(土)15:00～17:00 ■場所／井出字三平下地内(田)一本松周辺
大谷地区	■日時／1月10日(土)17:00～18:00 ■場所／大谷字磐前地内(田)
波倉地区	■日時／1月10日(土)14:00～16:00 ■場所／波倉字浜畑地内(空き地)

# 令和7年度 第3回みんなのボランティア講座

檜葉町ボランティアセンターでは、下記の通り『介護について』をテーマにボランティア講座を開催します。

当日は、衣類の着脱や車いすへの移乗など介助方法を学び、体験します。

- 日時／2月28日(土)10:00～12:00
- 会場／やまゆり荘(檜葉町デイサービスセンター)(檜葉町大字山田岡字大堤入31-1)
- 講師／やまゆり荘職員
- 内容／介助方法の説明・体験
  - 衣類の着脱方法 ●車いすへの移乗方法
  - 車いすの操作 ●福祉車輛の体験等

■参加費／無料 ■募集人数／50名

■申込方法／電話または保健福祉会館にてお申込みください。

## ●お申し込み・お問い合わせ先

檜葉町ボランティアセンター(檜葉町保健福祉会館内)  
☎0240-25-4157(平日8:30～17:15)



確定申告書等作成コーナー



動画で見る確定申告

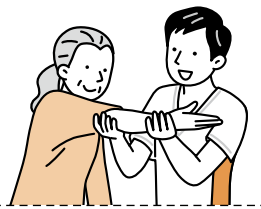


マイナポータル連携の詳細はこちら



元気アップ教室

Jヴィレッジフィットネスジムのトレーナーが、運動やストレッチ等を支援します。  
■日時／1月14日(水)・1月28日(水)・2月25日(水) 13:30～15:00  
■会場／みんなの交流館 ならはCANvas



リフレッシュヨガ

呼吸、ポーズ、瞑想を組み合わせて行い、普段使っていない筋肉を目覚めさせます。  
■対象者／参加要件※を満たしている方 ※参加要件…医師から運動制限に関する指示等を受けていないこと。  
■定員／25名程度 30分程度歩くことに不安が無い程度の体力があること。  
■日程・場所／

日にち	時 間	場 所
1月 7日(水) 1月21日(水) 2月18日(水)	① 13:15～14:15 ② 14:45～15:45	① みんなの交流館 ならはCANvas ② 地域活動拠点「まざらっせ」

- 内 容／理学療法士兼ヨガインストラクターによるリフレッシュヨガ
- 持 ち 物／タオル・運動しやすい服装・水分(水筒またはペットボトル)・ヨガマット(お持ちの方)
- 申込方法／保健福祉課保健衛生係にご連絡ください。先着順にお申し込みを受け付けます。
- 注意事項／都合により日程・内容等が変更となる場合があります。

プール&ストレッチ2025[第4クール]のご案内

ならはスカイアリーナでストレッチ&アクアビクスをしませんか？  
Jヴィレッジのトレーナーが、皆さんが元気で笑顔になれるメニューを提供します！  
■対 象 者／参加要件※を満たしている方 ※参加要件…医師から運動制限に関する指示等を受けていないこと。  
■定 員／25名程度 30分程度歩くことに不安が無い程度の体力があること。  
■日 程

日にち	1月23日～3月13日の金曜日[全8回] 1月 23日・30日 2月 6日・13日・20日・27日 3月 6日・13日
時 間	9:50～12:00

- 場 所／ならはスカイアリーナ
- 内 容／ストレッチ・水中ウォーキング・アクアビクス等
- 持 ち 物／水着・水泳帽(キャップ)・タオル・上履き・運動しやすい服装・水分(水筒又はペットボトル)
- 申込方法／1月21日(水)までに保健福祉課保健衛生係にご連絡ください。先着順にお申し込みを受け付けます。
- 注意事項／原則として、8回続けて参加していただく教室です。都合により日程・内容等が変更となる場合があります。定員を超えたお申し込みがあった場合には、初めて参加される方を優先させていただきますのでご了承ください。

●お申し込み・お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

世帯数	3,162	男	3,253	女	3,027	人口(個人数)	6,280
-----	-------	---	-------	---	-------	---------	-------

お悔やみ申し上げます (敬称略)		
氏 名	年齢	行政区
早川 カツ	101	上小碓
(広報ならは12月号掲載以降亡くなられた方)		

指定給水工事業者名	年・月	令和8年
北陽管工 0240-27-3419	1月	2日、25日～31日
吉田鉄工所 0240-27-3241	2月	8日～14日
山忠設備工業 0240-27-3311	3月	4日～10日
草野建設 0240-25-3121	4月	15日～21日
山忠設備工業 0240-27-3311	5月	11日～17日
草野建設 0240-25-3121	6月	22日～28日
山忠設備工業 0240-27-3311	7月	1日、18日～24日
草野建設 0240-25-3121	8月	1日～7日
山忠設備工業 0240-27-3311	9月	3日
草野建設 0240-25-3121	10月	1日～7日

モニタリングの結果は各ホームページをご確認ください。

福島県放射能測定マップ

原子力規制委員会放射線モニタリング

食品等モニタリング

福島県農林水産物・加工食品モニタリング

双葉地方水道企業団

子ども家庭センターからのお知らせ

★ふらっと ながら★  
あおぞらこども園子育て支援センターで  
毎週火曜日に開催しています。

何かをしながら(お茶を飲みながら、遊びながら等)、ホッと一息つける場所です。お子さんやご家族、ご友人とのんびりとした時間を過ごしたりしませんか？  
どなたでもふらっと気軽にお立ち寄りください。子育て経験や保健師経験があるスタッフがいつでもお待ちしております！  
★場 所／あおぞらこども園 子育て支援センター  
★日 時／毎週 火曜日 10:00～15:00 (1月は13日・20日・27日)  
★対 象／妊婦さん～子育て中の保護者の方。そのご家族、地域のみなさん😊

★申 込 み／不要  
●お問い合わせ先  
こども課 ☎0240-23-5515  
家庭教育支援活動 ☎070-3798-5557

1月の納税等

忘れずに納付をお願いします。  
■国民健康保険税(7期)  
納期限: 令和8年2月2日(月)

●お問い合わせ先  
町民税務課 ☎0240-23-6101  
■後期高齢者医療保険料(6期)  
■介護保険料(随1期)  
納期限: 令和8年2月2日(月)

●お問い合わせ先  
保健福祉課 ☎0240-23-6102  
※口座振替の方は2月2日(月)に引き落としとなりますので残高の確認をお願いします。  
※口座振替を申請された方は納付書で納付する必要がなく、自動で口座から引き落としされますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

福島空港利用促進協議会からのお知らせ

福島空港をご利用ください！  
福島から大阪、札幌、台湾へ。手荷物を一度預ければ最終目的地まで自動で運ばれる乗り継ぎ利用が非常に便利。四国・九州各地、沖縄へもスムーズに到着。  
●お問い合わせ先  
福島空港利用促進協議会 ☎024-521-7127

1月の子育て情報

母子健康相談

子どもの育児の相談、言葉の遅れ、きょうだいや家族の事などを、町保健師、心理士、看護師が相談を受けます。  
■対 象／就学前の乳幼児とその保護者  
■日 時／1月22日(木) 10:00～12:00  
■会 場／あおぞらこども園

ふたば教室

お子さんの言葉や発達についての相談や子育ての相談など、教室を通して専門職がアドバイスします。広野町、楡葉町、富岡町合同で行っている教室です。  
■対 象／就学前のお子さんと保護者  
■日 時／1月27日(火) 受付9:45～10:00 終了11:30ごろ  
■会 場／富岡町保健センター  
※参加を希望される方は、事前にこども課へご連絡ください。

ベビママ教室

今回はお楽しみ会です。親子で楽しめるレクリエーションを行います。親子で楽しい時間を過ごしましょう。  
■対 象／就学前のお子さんと保護者  
■日 時／2月20日(金) 10:00～12:00  
■会 場／あおぞらこども園 子育て支援センター  
※参加を希望される方は、事前にこども課へご連絡ください。  
●お問い合わせ先  
こども課 子育て支援係 ☎0240-23-5515

手づくりキャンドルワークショップ開催

NARAHANAアンバサダー CANDLE JUNEさんのキャンドルづくり体験教室を開催します！  
世界にひとつだけのキャンドルをつくって、夜空の下で灯してみませんか。  
■日 時／2月11日(水・祝) 15:00～17:00  
■場 所／みんなの交流館 ならはCANvas 多目的室  
■参 加 費／300円(楡葉町在住の小学生以下は無料)  
■定 員／20名 先着順  
■受付期限／2月6日(金)定員に達し次第締切り  
●お申し込み・お問い合わせ先  
くらし安全対策課 窓口または電話 ☎0240-23-6109  
※この事業は、東日本大震災の記憶を未来につなぐことを目的として、3.11伝承ロード推進機構の支援により実施しています。

ただいま、お得なキャンペーン実施中！

○福島空港 Winter旅キャンペーン

○乗っトク！チェックインキャンペーン

○「見て、乗って、応募しよう！」福島県産品プレゼントキャンペーン

○お得に台湾パスポート補助・30歳未満1万円値引き





# 初日の出は天神岬で!!



【予想時刻】

2026年1月1日 午前6時50分ごろ

天神岬スポーツ公園

(福島県双葉郡檜葉町大字北田字上ノ原27-29)

● 駐車場あり ●



10か月健診の際にお写真をお撮りします

かわぐち の あ  
河口 叶碧  
ちゃん

あさい たかひで  
浅井 崇秀  
くん

いしい りか  
石井 瑠華  
くん

## 檜葉町役場連絡先一覧

### 檜葉町役場

● 総務課 0240-23-6100  
● 町民税務課 0240-23-6101  
● 保健福祉課 0240-23-6102  
● 政策企画課 0240-23-6103  
(DX推進室含む)  
● 農林水産課 0240-23-6104  
(農業委員会含む)

● 土地改良区 0240-23-6137  
● 産業創生課 0240-23-6105  
● 建設課 0240-23-6106  
● くらし安全対策課 0240-23-6109  
● 出納室 0240-23-6131  
● 議会事務局 0240-23-6132

● こども課 0240-23-5515  
● 生涯まなび課 0240-25-2492  
コミュニティセンター  
0240-25-4701  
● あおぞらこども園  
(子育て支援センター)  
0240-26-0808

### 防災無線

防災無線の内容を電話で  
確認できます。  
0240-25-5805  
0240-25-5806

〒979-0604 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5番地の6

TEL 0240-25-2111 FAX 0240-25-5564 E-mail:naraha@town.naraha.lg.jp

【土日祝日は日直対応 8:30~17:15】



檜葉町をちょっと  
のぞいてみませんか?  
檜葉町  
公式SNS



ホームページ



X



Facebook



Instagram



LINE



YouTube



あおぞらこども園  
Instagram